

あゆむ

H27年度認知症の人とあゆむ会総会特別講演会開催

認知症の人とあゆむ会の今年度の総会と特別講演会が、5月29日（金）アミーガはまゆり地域交流スペースで開催されました。

総会ではH26年度事業報告及び収支決算報告、H27年度事業計画案及び予算案が事務局より報告され、異議無く承認されました。

総会に引き続き、はまと脳神経内科クリニック濱登文寿先生による「身近な人が“おかしいな？”と感じたら～初期の気づきと対応～」というテーマの特別講演会が開催されました。

認知症の症状と、家族がはじめに気がつく症状についてお話して頂きました。治療の開始時期によってその後の認知症の進行に影響があることに触れられ、早期治療で自立した生活の期間を延ばすことができると説明しました。しかしながら、患者さんの多くはかなり進行してから受診されるケ

ースが多い現実も話されました。後半は認知症の16の具体的症状ついての内容でした。例えば収集癖に関しては、物のない時代に記憶が戻ってしまっているため、物が沢山あれば大丈夫と安心していている本人の気持ちを理解しながら、危険がなければ見守り、本人のいないところで少しずつ処分するなどの具体的対応方法についてもご説明頂きました。

最後に、一見不可解に思える行動にも意味がある。本人の立場に立って、スキシップを図りながら、その人らしさを出せるように接していくことが大事だとお話頂きました。



ミニ講座

見当識障害ってなに？

1. 見当識障害とは？

現在の日時や今いる場所、誰と話しをしているのかなど、自分が置かれている状況を認識する事を正確に出来なくなることを見当識障害と言います。

2. 症状と現れ方

日時や時間を間違える事が多くなり、朝昼晩や季節が分からない、外出した時に何度も通っている場所でも迷ったり、更に進むと、相手の人が分からなくなってしまう事です。

3. 見当識障害が見られた人への対応や具体例

見当識障害が現れると家族の方もパニックになり、怒ってしまう事もあるかもしれませんが、忘れてしまっているのは病気の為と受け止め、話を合わせましょう。怒ったり責めたりするのは、余計興奮させてしまい逆効果です。

初期の頃であれば、カレンダーの今日の日付の所に印をつけることを日課にしてもらいましょう。時計を見ながら「もうお昼。」「もう寝る時間。」と時の分かる言葉でたくさん声掛けをすることが大切です。朝はカーテンを開けて日光を部屋に入れ、洋服選びやお花など季節を感じる事が出来るよう話題にしましょう。部屋やトイレを間違える場合は、分かり易いよう大きく目印をつけたりしましょう。

★トピックス★認知症最新ニュース

6/11の衆議院本会議で、75歳以上の方が自動車免許を更新する際に受ける認知機能検査で、「認知症の恐れがある」と判定された方は、違反経験が無くても「医師の診断が義務付けられる法案」が可決された。警視庁によると、75歳以上のドライバーが起こした全国471件の死亡事故のうち、記憶力低下と認知機能の衰えが疑われた人の事故は4割近くと発表。高齢ドライバーの事故を防ぐため法案が可決された運びとなっている。

活動予定

- ☆ つどい定例会（対象：正会員・準会員）
 - ・7月15日（水）13：30～15：00
 - ※ミニ講座「実行機能障害について」
 - ※会場：小佐野コミュニティセンター2階
- ☆ 小規模定例会（対象：正会員のみ）
 - ・8月19日（水）13：30～15：00
 - ※ 会場：小佐野コミュニティセンター1階
- ☆ 施設見学会（対象：正会員のみ）
 - ※9月開催予定 決まり次第後連絡致します。